



『幼稚園児やすたかくんにみる、目標との向き合い方』を振り返って・・・

- （1組女子）自分はまだ進路のことが決まっただけで行動に表せられていなくて、今日の授業を受けて、もっと行動に表して、支えてもらっている担任の先生や親、塾の先生、友達などに、笑顔で「合格したよ、ありがとう。」と言えるように頑張ろうと思いました。
- （1組男子）まだまだ人生は長いので、自分は10分の3ぐらいかな。この授業では、弱音を吐いたって良いけど、頑張ってゴールまでたどり着くこと、そしてサポートされていることは重要で、支えてくれた人に感謝を伝えないといけないことを学びました。
- （2組女子）自分はまだこの辺だと思う。やりたくても、やろうと思っててもなかなか進めないから、弱音を吐いてちゃんと進めるやすたか君はすごいと思った。中3が5歳に負けてると感じたから、ちょっとやろうかなと思った。
- （2組男子）やすたか君は、最後まで自分の目標に向かって、途中弱音を吐くこともあったけど、最後まであきらめずに目標を達成したのはすごいと思う。田村さんも、やすたか君を支えて、自分もしんどいはずなのに最後まで応援し続けていたのもスゴイと思った。
- （3組女子）まだまだゴールは遠いと思いました。理由は受験勉強がぜんぜん進んでいないからです。VTR中の男の子のようにやる気をもち、田村探偵のように仲間と支え合いながら頑張っていきたい。
- （3組男子）自分は162kmのうちの20kmに来ていると思う。自分はしんどい時に頑張らずに、しんどいことから逃げ続けていたけど、これからはやすたか君みたいにしんどい時にこそ頑張れるようにしたいと思いました。
- （4組女子）自分の限界を超える努力を5歳の子がしているのを見て、自分は何をしているのだろうと情けなくなった。
- （4組男子）何のとりえもない自分に、何か一つでも自信をもてることを、自分の価値を見出すために筋トレをしている。まだまだ道のりは長いし、ゴールが本当にあるのか分からないし、そもそもこれをやること自体が正しいのか、とりえがないのはダメなことなのかとか色々考えるけど、とにかく今の自分があまり好きじゃないから。自分の何かを変えたいから頑張っているつもり。
- （5組女子）目標が自分の理想にあるとするなら、まだまだ出だしだなって思った。けど今、テストとか受験とか高校で。頑張りたいことを見つけて少しづつ自分の意思が強くなってきてるんじゃないかな、とも思うので、たまに休みながら頑張りたいし、周りの人にもちゃんと感謝などを伝え、いずれ達成して「ありがとう」を伝えたいなって思った。
- （5組男子）自分は目標(162km)にたいして半分まで来ていると思う。半分まで来て、もう無理って思ってしまって、それ以上行けていないから、これからは半分より1m前に出ていける努力をしたいと思いました。それで最終的に162kmという壁も越えていきたいです。
- （6組女子）何かをやり遂げたいと思ったら、結局自分の力で頑張らないといけないなと思った。でも、全て自分一人で突っ走るのではなくて、周りの人の気遣いに気づいたり、他人を気遣ったり、協力したり、されたり…ということを積み重ねて、目標にたどり着けたらいいなと思った。
- （6組男子）僕は今まで、自分がやろうって決めたのにすぐあきらめてやらないことが多かったけど、こんなのが見せられたらやるしかないでしょ。自分が決めたことが達成できたら嬉しいし、どんな弱音を吐こうと、最後までやるって気持ちを忘れず、全てのことに挑戦したい。